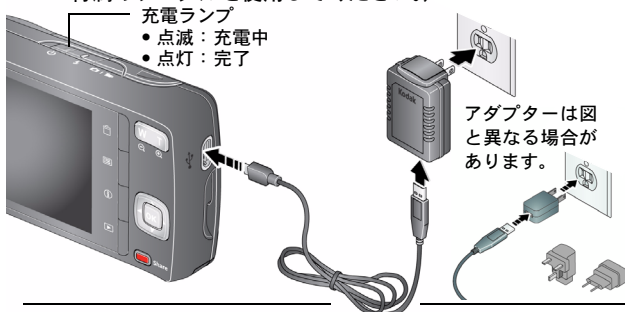
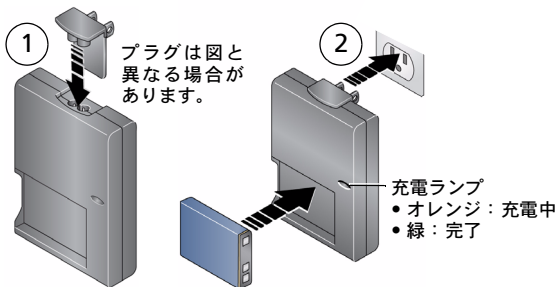
1 ストラップの取り付けとバッテリーの装着

2 バッテリーの充電

必要なときにバッテリーを充電します。

パッケージにアダプターが同梱されている場合

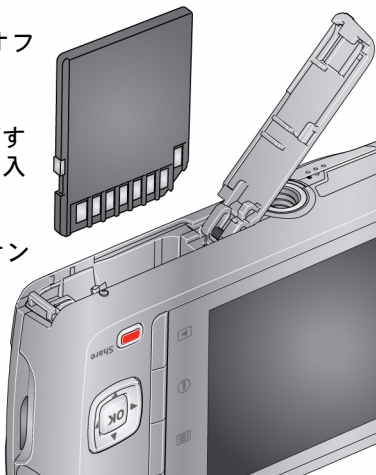
1. カメラの電源をオフにします。
2. KODAK カメラ USB ケーブル（Micro B/5 ピン）を使用して、カメラを外部充電器に接続します。（必ずカメラに付属のケーブルを使用してください。）

パッケージに充電器が同梱されている場合

SD/SDHC カードに画像を保管する

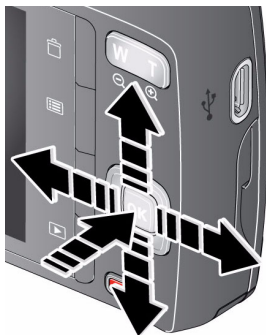
カメラには内蔵メモリーが搭載されています。SD/SDHC カードを使用すれば、さらに多くの画像や動画を保管できます。

注意：

カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。カードの挿入・取り外しをするときは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

1. カメラの電源をオフにします。
2. カチッという音がするまでカードを挿入します。
3. カメラの電源をオンにします。

カードを取り出すには、カードを押して離します。

4 カメラの電源を入れる

5 言語と日付／時刻の設定

言語：

▲▼ を押して変更します。
OK を押して確定します。

日付／時刻：
指示に従ってOK ボタンを押します。

▲▼ を押して現在の項目を変更します。
◀▶ を押して前後の項目に移動します。
OK を押して確定します。

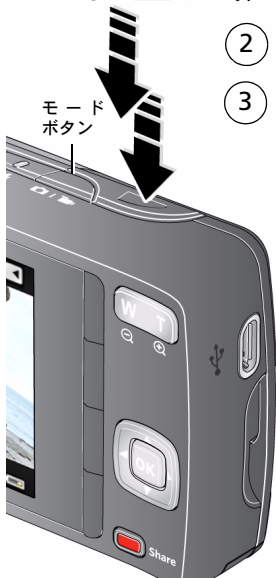
詳細ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

6 静止画を撮影する

1. スマートキャプチャーモードにして、カメラの電源をオンにします。
   (モードが違う場合は、モードボタンを押し、液晶画面(LCD)にスマートキャプチャーモード が表示されるまで ▲▼ を押してから、OK を押します。)

2. 画像の構図を決めます。

3. シャッターボタンを半分押した状態で、ピントを合わせて露出を設定します。

   フレーミングマークが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し込みます。

フレーミングマーク

その他のモード	10 ページを参照
詳細ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

7 再生する

画像の表示と非表示を切り替えるにはレビュー（再生）▶ボタンを押します。

◀▶ 前後の画像や動画を表示します。

OK 動画を再生します。

詳細ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

カメラのヘルプを参照する

カメラにはヘルプ機能が内蔵されています。
ヘルプでは、すべてのメニュー設定について説明しています。

1. メニュー ☰ ボタンを押し、メニューを選択します。
2. 情報 ℹ ボタンを押します。

▲▼ ヘルプのトピックをスクロールします。

カメラの関連情報

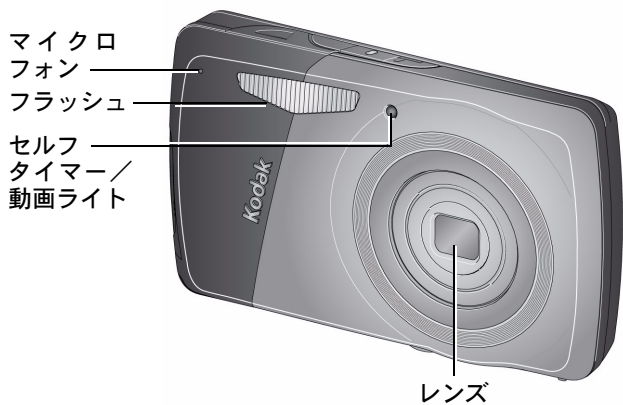
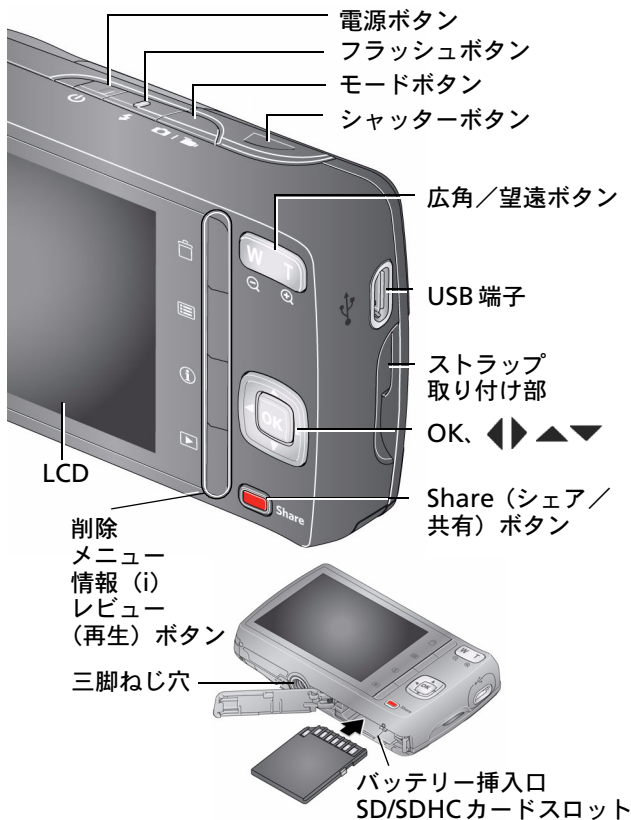
詳しくは、www.kodak.co.jp を参照してください。

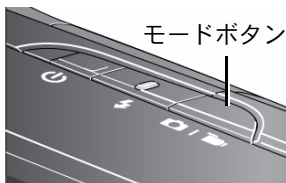
- 詳細ユーザーガイド
- 対話型チュートリアル
- その他にもさまざまな情報が掲載されています

詳細ユーザーガイド	www.kodak.co.jp

前面図

背面図

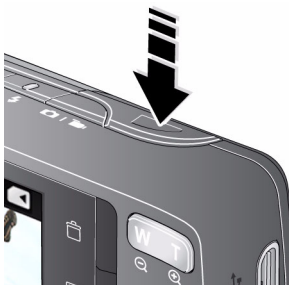
電源ボタン
フラッシュボタン
モードボタン
シャッターボタン
広角／望遠ボタン
USB 端子
ストラップ
取り付け部
OK、◀▶▲▼
Share（シェア／
共有）ボタン
LCD
削除
メニュー
情報（i）
レビュー
（再生）ボタン
三脚ねじ穴
バッテリー挿入口
SD/SDHC カードスロット
W
T
OK
Share

1 カメラのさまざまな機能を利用する

さまざまなモードの使用

モードボタンを押し、液晶画面に被写体と撮影条件に合うモードが表示されるまで ▲▼ を押してから、OK を押します。

使用するモード		説明
	スマートキャプチャー	通常の撮影に使用し、簡単な操作で優れた画質を実現できます。
P	プログラム	高度な撮影に使用します。手動で設定できる項目が多くなります。
SCN	シーン	特定の条件下で、手軽に状況に合わせて撮影を行うことができます。(12 ページを参照。)
	動画	音声付きの動画を撮影できます。(11 ページを参照。)

画面の明るさを調整する

環境に合わせて液晶画面の明るさを調整する方法については、詳細ユーザーガイド（www.kodak.co.jp を参照）を参照してください。

動画を撮影する

1 モードボタンを押し、液晶モニターに動画モード が表示されるまで ▲▼ を押してから、OK を押します。

2 シャッターボタンを完全に押し下げてから離します。録画を停止するには、シャッターボタンをもう一度押して離します。

シーン（SCN）モードの使用

シーンモードを使用すると、さまざまな状況に合わせて画像を撮影できます。

1 モードボタンを押し、液晶画面にSCN（シーン）モードが表示されるまで▲▼を押してから、OKを押します。

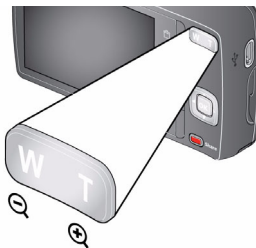
2 ◀▶ ▲▼ を押してシーンモードを選択し、説明を読みます。

3 OK を押してシーンモードを確定します。

SCN（シーン）モード	説明
ポートレート	人物の撮影に適しています。
スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。
ぶれ軽減	カメラのぶれや被写体の動きによるぶれを軽減します。
パノラマ（左→右、右→左）	2 枚または 3 枚の画像を「ステッチ」して、パノラマ画像を完成させます。
遠景	遠距離の風景に適しています。
高 ISO 設定	室内や低光量環境下での人物撮影に適しています。
マクロ	非常に近い距離の被写体に適しています。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。

SCN（シーン）モード	説明
フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。
サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。
逆光	逆光での撮影に適しています。
キャンドルライト	キャンドルライトの下での撮影に適しています。
チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。
マナー／美術館	静かな場所での使用に適しています。フラッシュとサウンドは使用できません。安定した場所または三脚の上にカメラを置いてください。
書類	書類の撮影に適しています。安定した場所または三脚の上にカメラを置いてください。
ビーチ	砂浜での撮影に適しています。
スノー	雪景色の撮影に適しています。
花火	花火の撮影に適しています。安定した場所または三脚の上にカメラを置いてください。

SCN（シーン）モード	説明
セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。ピントを適切に合わせ、赤目を軽減します。
夜景ポートレート	夜景や光の弱い場所での人物撮影で起こりやすい赤目を軽減します。
夜景	遠距離の夜景撮影に適しています。フラッシュは発光しません。
流し撮り	水平方向の動きを強調しながら撮影します。被写体がシャープになり背景はぼやけます。

光学ズームの使用

1 液晶モニターを使用して、被写体を捉えます。
2 拡大するには、望遠（T）を押します。縮小するには、広角（W）を押します。
3 静止画を撮影します。

フラッシュを使用する

フラッシュボタンを何回か押して、液晶画面に目的のフラッシュモードを表示させます。

フラッシュモード		フラッシュの発光
オート		フラッシュが必要な明るさで自動的に発光します。
強制発光（フラッシュオン）		明るさに関係なく、撮影するたびに発光します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（光が被写体の後ろにある場合）に使用します。 注： スマートキャプチャーモードでは使用できません。
赤目軽減発光 ［設定］メニューで設定を選択します。	プレ発光	フラッシュ光に目を慣れさせるため、撮影の直前に一度発光します。
	デジタル修正	赤目軽減用のフラッシュは発光せず、カメラの内蔵ソフトウェアで赤目を修正します。 注： デジタル修正を使用する場合は、プレ発光を使用する場合よりも画像処理に時間がかかります。
オフ		発光しません。

ショートカットの使用

カメラのインターフェイスは、すっきりと見やすくなっています。頻繁に使う撮影　再生機能にすばやく切り替えるには、次の手順で操作します。

1 情報 ⓘ ボタンを押します。

ショートカットが表示されます。ショートカットを非表示にするには、もう一度ⓘを押します。

2 ◀▶ を押すと、露出補正やセルフタイマー、オートフォーカスなどの機能が表示されます。他のモードでは他の機能が表示されます。

3 ▲▼ を押して設定を選択します。

画像と動画の削除

1 レビュー（再生）▶ボタンを押します。

2 前後の画像や動画に移動するには ◀▶ を押します。

3 削除ボタンを押します。

4 画面上の指示に従ってください。

メニューボタンを使用した設定の変更

重要：カメラにはヘルプ機能が内蔵されています。このヘルプを参照する方法については、7 ページを参照してください。

撮影時の設定を変更することができます。モードによっては設定が制限されている場合もあります。

1 メニュー☰ボタンを押します。

2 ◀▶ を押してタブを選択します。

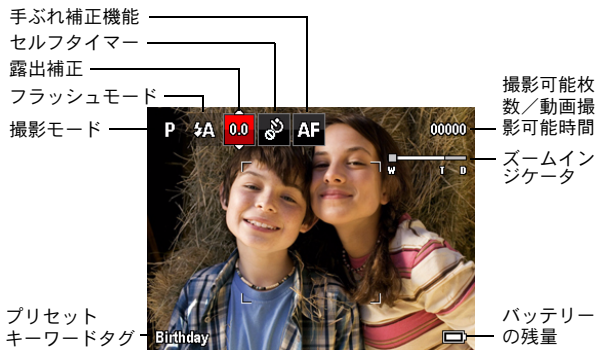
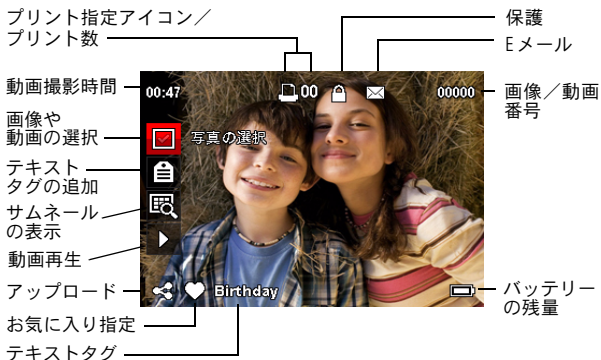
- **［撮影］／［動画］タブ：**一般的な画像や動画の撮影の設定を行います。
- **［設定］タブ：**その他のカメラ設定を行います。

3 ▲▼を押して設定を選択し、OK を押します。

4 設定値を選択して OK ボタンを押します。

撮影アイコンについて

再生モードのアイコンについて

2 画像や動画の共有とタグ付け

画像のタグ付け

画像にタグを付けると、後で画像が検索しやすくなります。画像にタグを付けるには以下の 2 つの方法があります。

- **人物：**「Mary」で画像を検索。
- **キーワード：**「父親の 60 歳の誕生日」で画像を検索。

人物のタグ

顔にタグ付けすると、名前で人物を認識できるようになります。カメラが名前と顔を覚えて一致させ、撮影時には自動で人物を判断します。

1 Share（シェア／共有）ボタンを押してから、◀▶ を押し、顔を含む画像を検索します。

2 ▲▼ を押して [人物のタグ] を選択し、OK を押します。

3 ▲▼ を押して [タグの適用] を選択し、OK を押します。

4 ▲▼ を押して既存の名前を選択するか、[新しい名前の入力] を選択して新しい名前を入力し、OK を押します。

複数の顔が検出された場合、名前またはクエスチョンマークがそれぞれの顔に割り当てられます。名前が間違っていたり、クエスチョンマークが表示された場合は、▲▼ を押して顔を選択し、OK を押します。

5 ［人物のタグの更新］画面が表示されたら、▲▼ を押して［はい］を選択し、OK を押します。

このとき、他の画像がスキャンされ新しく適用した名前で更新されます。◀▶ を押して、別の写真に名前を追加します。操作が終了したら、▲▼ を押して、［完了］を選択し、OK を押します。撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。

ヒント：顔が検出されない原因

顔が横向きである、カメラからの距離が遠すぎる、または顔と背景のコントラストが低い場合は、カメラが顔を認識できないことがあります。

キーワードによるタグ付け

1 Share（シェア／共有）ボタンを押し、◀▶ を押して画像を選択します。

2 ▲▼ を押して［キーワードタグ］を選択し、OK を押します。

3 ▲▼ を押して既存のキーワードを選択するか、［新しいキーワード］を選択して新しいキーワードを入力し、OK を押します。

4 ◀▶ を押して、別の写真にキーワードを追加します。操作が終了したら、▲▼ を押して、[完了] を選択し、OK を押します。

撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。

ヒント：あらかじめタグを選択しておいて、新たに撮影された写真にそのタグを割り当てることもできます（例：イタリア旅行）。詳しくは、詳細ユーザーガイド（www.kodak.co.jp）を参照してください。

効率的な画像の検索方法

画像のタグ付けが完了したら、人物やキーワードで簡単に検索できるようになります。たとえば、「Mary」または「父親の 60 歳の誕生日」でタグ付けされた画像を検索できます（「人物のタグ」（19 ページ）または「キーワードによるタグ付け」（20 ページ）を参照）。

1 レビュー（再生）▶ ボタンを押します。

2 広角（W）ボタンを押して、画像をサムネールで表示します（または [サムネールの表示] ショートカットを選択します）。

3 ◀▶ ▲▼ を押して、タブを選択し、[すべて]、[日付]、[人物]、[お気に入り]、[キーワード] 別に画像を並び替えます。

4 ◀▶▲▼ を押して、1 枚の画像、またはスタック表示される複数の画像を選択します。

スタック表示の各画像、または 1 枚の画像を見るには、望遠（T）を押します。サムネール表示、またはスタック表示にするには、広角（W）を押します。撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。

最適な検索結果が得られるように、カメラの日付／時刻が現在の日時に設定されていることを確認してください。

3 カメラに関するトラブルシューティング

カメラの電源がオンまたはオフにならない。	■ バッテリーが充電されていること、および適切に装着されていることを確認してください (1 ページを参照)。必要なときにいつでもリチウムイオンバッテリーを充電できます。
カメラのボタンとコントローラが機能しない。	
液晶画面が暗すぎる。	■ 画面の明るさを調整してください (メニューボタン押し、[設定] タブを選択します)。
フラッシュが発光しない。	■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください (15 ページを参照)。 注： フラッシュが発光しないモードもあります。
再生モードで、青い画面または黒い画面が表示される。	■ すべての画像をコンピュータに転送してください。 ■ もう一度静止画を撮影してください。

撮影できない。	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ シャッターボタンを完全に押し込んでください（5 ページを参照）。 ■ 新しいバッテリー、または充電済みのバッテリーを装着してください（1 ページを参照）。必要に応じてリチウムイオンバッテリーを充電してください。 ■ メモリーがいっぱいです。画像をコンピュータに転送する、画像を消去する（17 ページを参照）、別のカードを挿入する、のいずれかを実行してください。
バッテリーの寿命が短い。	■ 新しいバッテリー、または充電済みのバッテリーを装着してください（1 ページを参照）。必要に応じてリチウムイオンバッテリーを充電してください。

4 付録

注意：

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。修理については、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。KODAK ACアダプターおよび充電器は必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。液晶画面が破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。コダックお客様相談センターにご連絡ください。

- Kodak が推奨する以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険性があります。
- 電流制限機能付きマザーボードを搭載したUSB対応コンピュータのみを使用してください。詳しくは、コンピュータのメーカーにお問い合わせください。
- 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。
- バッテリーを取り出した後は冷ましてください。熱くなっている場合があります。
- バッテリーの製造元の警告および指示に必ず従ってください。
- 爆発の危険性を避けるために、本製品での使用が認可されているバッテリーを必ず使用してください。
- バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- 硬貨などの金属にバッテリーが触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
- バッテリーを分解したり、向きを逆にして装着しないでください。また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
- 長期間に渡って本製品を使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。万一、本製品内でバッテリーが液漏れした場合は、修理が必要となります。

- 万一、バッテリーの液漏れが皮膚についた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- EC 規制 1907/2006（REACH）の 59(1) 条項に従った候補リストに含まれる物質の有無については、www.kodak.com/go/reach を参照してください 。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダックお客様相談センターまでお送りください。
- 充電式でないバッテリーは充電しないでください。

  バッテリーについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

限定保証

Kodak は、KODAK 製品パッケージに記載されている保証期間において、デジタルカメラおよびアクセサリー（バッテリーを除く）に、素材および製造上に起因する不具合があった場合、無償修理を行うことを保証します。購入日が明記された保証書または領収書のオリジナルは保管しておいてください。保証期間内の修理には、購入日の証明が必要になります。

限定保証の対象

保証サービスは、製品を最初に購入した国においてのみ有効です。製品を購入した国内の認定サービス業者に製品を配送する必要がある場合、その費用はお客様の負担となります。保証期間中に製品が正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。保証サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。Kodak が製品を修理または交換できない場合は、Kodak の判断において、製品の購入価格を返金します。この場合、製品の返品とともにお客様が支払った購入価格の証明が必要になります。修理、交換、または購入価格の返金が唯一の保証手段となります。修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。再生品、部品、および材料の保証期間は、元の製品の保証期間の残存期間、または修理日あるいは交換日から 90 日間のいずれか長い方とします。

制限

Kodakの管理の及ばない状況で発生した問題は、この保証の対象外となります。出荷による損傷、事故、改造、変更、認可されていない修理、誤用、乱用や、互換性のないアクセサリーや機器（サードパーティ製のインク、インクタンクなど）と併用した場合、Kodakの操作、保守、開梱の指示に従わなかった場合、またはKodak提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障には、この保証は適用されません。**Kodakは、本製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。また、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的な保証も放棄します。**法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は、購入日から一年間または法律によって要求される期間とします。Kodakが負う唯一の責務は、修理、交換、または返金オプションです。Kodakは、原因にかかわらず、本製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入、使用、故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害、代替機器の費用、設備やサービス、顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認します。ここに記載されている責任の制限および除外は、KodakおよびKodakの供給者双方に適用されます。

FCC準拠および勧告

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.The KODAK High Performance USB AC Adapter K20-AM complies with part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

カナダ通信局声明文

DOC Class B Compliance — This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Observation des normes-Classe B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

中国 RoHS

环保使用期限 (EPUP)

在中国大陆，该值表示产品中存在的任何危险物质不得释放，以免危及人身健康、财产或环境的时间期限（以年计）。该值根据操作说明中所规定的产品正常使用而定。

有毒有害物质或元素名称及含量标识表						
部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
数码相机电路板元件	×	○	○	○	○	○
锂电池	×	○	○	○	○	○
交流变压器	×	○	○	○	○	○
电池充电器	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006规定的限量要求。

USB 数据线

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

オーストラリア C-Tick マーク

韓国 Class B ITE

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

韓国 Li-ion Regulatory

취급상의 주의사항

< 경고 > 발열, 화재, 폭발 등의 위험을 수반할 수 있으니 다음 사항을

a) 육안으로 식별이 가능할 정도의 부풀음이 발생된 전지는 위험할 수 있으므로 제조자 또는 판매자로 즉시 문의할 것

b) 지정된 정품 충전기만을 사용할 것

c) 화기에 가까이 하지 말 것(전자레인지에 넣지 말 것)

d) 여름철 자동차 내부에 방치하지 말 것

e) 찜질방 등 고온다습한 곳에서 보관, 사용하지 말 것

f) 이불, 전기장판, 카펫 위에 올려 놓고 장시간 사용하지 말 것

g) 전원을 켠 상태로 밀폐된 공간에 장시간 보관하지 말 것

h) 전지 단자에 목걸이, 동전, 열쇠, 시계 등 금속 제품이 닿지 않도록 주의할

i) 휴대 기기, 제조 업체가 보증한 리튬2차전지 사용할 것

j) 분해, 압착, 관통 등의 행위를 하지 말 것

k) 높은 곳에서 떨어뜨리는 등 비정상적 충격을 주지 말 것.

l) 60℃이상의 고온에 노출하지 말 것

m) 습기에 접촉되지 않도록 할 것

기타정보

- 폐기지침 : 각 지방자치단체의 법규에 의거하여 폐기할 것
- 충전방법에 대한 권고지침
  1 본 충전지와 함께 사용할 디지털카메라 사용자 설명서의 충전설명 참조하세요.
  2 코닥 정품 충전기 및 카메라에서만 충전하세요. (타사 충전셋 사용 금지)

제조년월 : Y =Year(제조년도의 마지막 숫자), WW =Week(제조년도의 주)
제조년월 표시 예 : 901 =9 (2009년), 01 (첫째주)

Kodak

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

4H7228_jp